

| | |
|----------------|-----------------|
| フリガナ ご氏名 | ネゴロ ミノル 根来 実 |
| 企業・団体名 | 大阪府 |
| 所属 (企業・団体の) | 環境農林水産部農政室 |
| 役職 | 課長補佐 |



| | |
|-------------------|--|
| ご略歴 | 昭和 41 年大阪府生まれ 山口大学大学院農学研究科修士課程を修了 平成 4 年大阪府に入庁。 普及指導員として担い手育成や産地づくりに関わる。 本庁では、新規就農者確保育成のための施策立案、食の安全安心の確保に向けた取組を実施。現在、大阪府における G A P の推進を担当。 |
| 専門および 得意な分野・研究 | 水なす・キャベツなどの生産、農薬に関する対応 |
| セミナータイトル | 「G A P をめぐる情勢と取得の必要性」 |
| セミナー概要 | (※300 文字程度でご記入お願い致します。) G A P (Good Agricultural Practice) とは、農場・農業者ごとに、安全に農業をするためのルールを定めて、そのルールに基づいて生産工程を実践・見直していく取組のことです。G A P は、食品安全、環境保全・労働安全といった見えない価値を認証することにより見える化することで、取引の際の信頼確保につながるとともに、生産管理の向上、農業者自身や従業員の経営意識の向上につながるといった効果があります。その背景や取り組み項目などをご紹介します。 |
| ご講演中のキーワード | (*ご講演中に出てくる重要単語などを 4~8 個程度を目安にご記入お願いいたします) 国際水準 G A P、G A P の取り組み、G A P の意義、G A P の種類、 |
| 本セミナーで 習得できること | (記入例：・〇〇の基礎知識 ・〇〇のノウハウ など箇条書きで 3~6 個程度を目安にお願いいたします) G A P に取り組む背景と意義 大阪府における国際水準 G A P の認証取得支援 |